

第一、二号研修実地研修評価票：喀痰吸引 気管カニューレ内部吸引(通常手順)

評価基準

「ア」…評価項目について手順通りに実施できている。
 「イ」…評価項目について手順を抜かしたり、間違えたりした。
 「ウ」…見過ごせないレベルであり、その場で指導した。
 「エ」…1人での実施を任せられるレベルではない。

研修受講者氏名	
本票ページ数	/

実施回数	()回目	()回目	()回目	()回目	()回目
実施月日	/	/	/	/	/
実施時間					
指導看護師等確認印	印	印	印	印	印
実施手順	評価項目	評価			
STEP4： 準備	1 医師の指示等の確認を行う				
	2 手洗いを行う				
	3 必要物品をそろえ、作動状況等を点検確認する				
	4 必要物品を実地研修協力者（演習の場合は演習シミュレーター）のもとに運ぶ				
STEP5： 実施	5 実地研修協力者に吸引の説明をする				
	6 吸引の環境・実地研修協力者の姿勢を整える				
	7 気管カニューレ周囲や固定の状態を観察する				
	8 手袋の着用またはセッソを持つ				
	9 吸引チューブを清潔に取り出す				
	10 吸引チューブを清潔に吸引器と連結管で連結する				
	11 (浸漬法の場合) 吸引チューブ外側を清浄綿等で拭く				
	12 吸引器の電源を入れて原則として滅菌精製水を吸い決められた吸引圧になることを確認する				
	13 吸引チューブ先端の水をよく切る				
	14 実地研修協力者に吸引開始について声かけを行う				
	15 適切な吸引圧で適切な深さまで吸引チューブを挿入する				
	16 適切な吸引時間で気管カニューレ内の分泌物等の腔内物を吸引する				
	17 吸引チューブを静かに抜く				
	18 吸引チューブの外側を清浄綿等で拭く				
	19 滅菌精製水を吸引し、吸引チューブ内側の汚れを落とす				
	20 吸引器の電源を切る				
	STEP6： 報告	21 吸引チューブを連結管から外し保管容器に戻す、または単回使用の場合は原則として破棄する			
22 手袋をはずす（手袋を着用している場合）またはセッソを戻す					
23 実地研修協力者に吸引終了の声かけを行い、姿勢を整える					
STEP7： 片付け	24 吸引物及び実地研修協力者の状態を観察する				
	25 実地研修協力者の吸引前の状態と吸引後の状態変化を観察する				
	26 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないかを観察する（経鼻経管栄養実施者のみ）				
	27 手洗いをする				
STEP8： 記録	28 吸引物及び実地研修協力者の状態を報告する				
	29 吸引後に経鼻経管栄養チューブが口腔内に出てきていないことを報告する（経鼻経管栄養実施者のみ）				
	30 ヒヤリハット・アクシデントの報告をする（該当する場合のみ）				
	31 吸引びんの排液量が70%～80%になる前に排液を捨てる				
	32 使用物品を速やかに後片付けまたは交換する				
	33 実施記録を記載する				
アの個数 計					

※全ての評価項目が「ア」となった場合に合格とする

* 自由記載欄

()回目	
()回目	
()回目	
()回目	
()回目	